



令和3年度交通安全・防犯ポスター小学校3年生の部最優秀賞作品

新入学児童の交通事故にご注意を

岡地域づくり課 ☎(235)4789

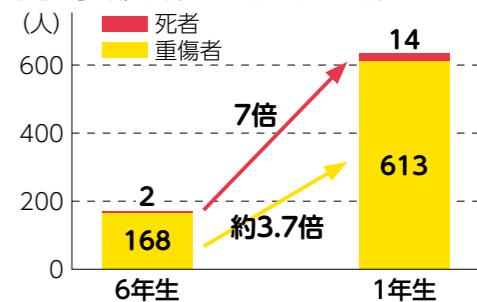
5月は新入学児童が学校生活に慣れてくる頃です。子どもたちの行動範囲が広がり気も緩みがちになることから、交通事故が急増します。事故に遭わない、起こさないためにも日頃の行動を見直しましょう。

新入学児童の事故は6年生の約3.7倍

歩行中の交通事故で重傷を負った新入学児童は警察庁の統計(右表)によると、6年生の約3.7倍、死者数は7倍に上ります。

子どもの事故の特徴は「飛び出し」「下校時」「自宅近く」です。交通ルールに慣れていない小さな子どもがいる家庭や、車を運転するときは注意しましょう。外出や交通量が増加する大型連休中も注意が必要です。

小学校6年生と1年生の歩行中の交通事故数(平成29年~令和3年)



交通ルールとマナー

交通事故を減らすため、「小さな子どもがいる家庭」や「ドライバー」がそれぞれの立場でできる交通ルールとマナーを実践しましょう。

子どもと確認しよう！

道路に飛び出さない



道路を渡るときは横断歩道を利
用し、立ち止まって手を上げて右・
左・右を確認し、車が止まってか
ら渡りましょう。

道路で遊ぶなら



道路は車や歩行者が通行する場
所です。道路で遊ぶと事故の危険
が高まります。

道路で広がって歩かない



歩道や路側
帯がない場所
は、車に注意し
ながら道路の
右端を歩いま
しょう。

道路の横断は信号機が青色のときだけ

歩行者用の信号機が点滅中のときや車用の3色信号機が黄色のときは渡り始めてはいけません。



点滅したら渡らないで!!

交通事故を減らす市の取り組み

入学時期に合わせ、新入学児童に黄色の「えび」にヤランドセルカバー」や反射材などの啓発品を配布しています。各地域の要望に応じて、危険箇所安全運転を促す電柱幕や歩行者向けに一時停止を促すステッカーなどを設置しています。また、海老名警察署との連絡・調整役も担っています。



地域の交通安全を見守る交通指導員

子どもたちが安心して「行ってきます」と言える安全なまちを目指して、81人の海老名市交通指導員がボランティアとして活動しています。児童の登下校に合わせた通学路の立哨や街頭啓発、小・中学校で交通安全教室を行うなど、子どもたちを中心に交通安全の指導と啓発をしています。



5月は自転車マナーアップ強化月間

自転車は「車のなかま」です。道路を通行するときは、「車」としての交通ルールとマナーを順守し、安全運転を心掛けましょう。また、危険から身を守るためにヘルメットを着用しましょう。

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
夜間はライトを点灯
交差点での信号順守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用



令和3年度交通安全・防犯ポスター小学校4年生の部最優秀賞作品

注意

物陰や交差点に注意

小さな子どもは、車や電柱、看板などの物陰に全身が隠れやすく、見落としてしまうことがあります。交差点などの死角にも注意しましょう。

注意しよう!

飛び出しに注意

運転中は

住宅街や学校、公園周辺は、子どもが急に飛び出してくる可能性が高まります。徐行を心掛けましょう。

横断歩道は歩行者優先

横断歩道の近くに歩行者がいるときは横断歩道の手前で減速しましょう。横断を待っている人がいるときは必ず停車しましょう。

子どもが視界に入ったときは減速を

子どもは大人に比べて視野や視界が狭いため、何かに夢中になると他のことが目に入りにくく、車を見落としてしまうことがあります。運転中に子どもが視界に入ったときは、減速や一時停止をしましょう。